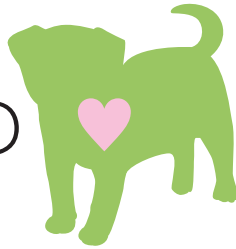


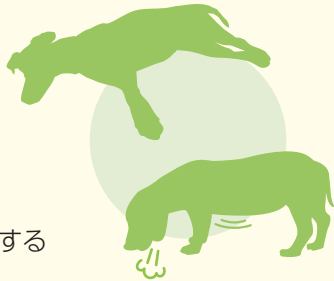
わんちゃんのご家族さまへ



～心臓病について～

犬では高齢になるにつれ、心臓病が増加します。
このような症状が見られたら
「心臓病」かもしれません。

- ✓ なんとなく元気がない
- ✓ 疲れやすくなった
- ✓ 食欲が落ちた
- ✓ 咳が続いている
- ✓ 運動後、すぐ息切れする
- ✓ 安静時呼吸数が多い(40～50回/分)



どれか1つでも気になることがあれば、
検査を受け、早期発見を目指しましょう。

Q & A

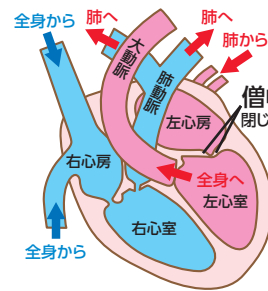
Q 犬で多い心臓病は？

A 僧帽弁閉鎖不全症です。
そうぼうべんいせふぜんしょう

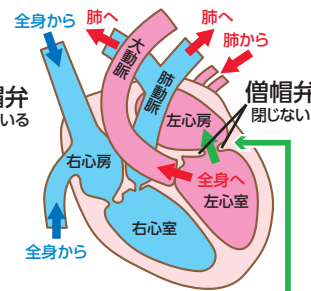
Q 僧帽弁閉鎖不全症とは？

A 僧帽弁の開閉が上手くいかず、血液が逆流
するためおきる疾患です。

■ 正常



■ 僧帽弁閉鎖不全症



Q どのような治療をしますか？

A 薬を飲んだり、重症の場合は手術をすること
で、症状の緩和につながる事が多いです。

Q どんな検査が必要ですか？

A 聴診・胸部レントゲン検査・心臓の超音波
(エコー) 検査・血液検査などを行い、心臓の
サイズや機能を確認します。
主治医の先生へご相談ください。

心臓病に
なりやすい
犬の種類

高齢で多い
比較的小型犬で多い

- キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル
- ダックスフンド ● チワワ ● マルチーズ ● シーズー
- パピヨン ● トイ・プードルなど



キャバリア・キング・
チャールズ・スパニエル



チワワ



マルチーズ



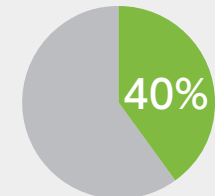
トイ・プードル

血液検査で心臓の状態を
予測することができます。

特性の異なる検査項目

ANP	うっ血性心不全のリスクを判定します
NT-proANP	心筋症の早期発見や弁膜症の重症度判定に利用します
NT-proBNP	心筋細胞の傷害(心筋梗塞や心筋炎)を判定します
心筋トロポニンI	

8歳以上の犬における心臓検査異常値率※



※2024年4月～2025年3月に健康診断として富士フイルムVETシステムズ株式会社
へ依頼された心臓検査NT-proANP(犬)の結果より、参考基準範囲を上回った値を
異常値としています。

わんちゃんと楽しく豊かな
生活を送るために、
年に1～2回は動物病院へ行き、
健康診断を受けましょう!



【監修】大塚駅前どうぶつ病院 心臓メディカルクリニック 院長 堀 泰智 先生

富士フイルム VETシステムズ株式会社

<http://ffvs.fujifilm.co.jp>